

玖珠町認知症ケアパス

～住みなれた地域で安心して自分らしく暮らしていくために～

認知症支援ガイド



この認知症支援ガイドは、みなさまに認知症を正しく理解していただき、住み慣れた玖珠町で安心して自分らしく暮らしていくためのガイドブックです。認知症についての基礎知識をはじめ、予防の段階から認知症の進行に合わせて、いつ・どこで・どのような医療や介護のサービスが受けられるかなど掲載していますので、これからの生活に役立ててください。

玖 珠 町
玖珠町地域包括支援センター

はじめに

認知症は誰にでも起こり得る身近な病気です

2022 年の認知症および MCI の調査によりますと、2040 年の認知症者高齢者数は 584.2 万人、MCI 高齢者数は 612.8 万人と推計されています。

玖珠町では「誰もが認知症になり得る」という認識のもと、認知症になっても生きがいや希望を持って暮らすことができるような、認知症の人に優しい町づくりをしています。

資料：厚生労働省「認知症及び軽度認知障害（MCI）の高齢者数と有病率の将来推計」より

もくじ

1. 認知症について・・・・・・・・・・ 3
2. 認知症の受診について・・・・・・・・ 4
3. 認知症の方への接し方・・・・・・・・ 5
4. 認知症ケアパス・・・・・・・・・・ 6～7
5. 相談するところ・・・・・・・・・・ 8
6. 医療について・・・・・・・・・・ 9
7. 介護・福祉サービス・・・・・・・・ 10
8. 地域でささえあう・・・・・・・・ 11

認知症ともの忘れの違い

加齢による もの忘れ	体験の一部を忘れる  何食べたんだっけ？	約束をうっかり忘れる  しまった忘れてた！	ヒントがあれば思い出す  どこに置いたかな？
認知症による もの忘れ	体験そのものを忘れる  飯はまだか	約束したこと自体を忘れる  まだ来ないの？ さしめし	ヒントがあってもわからない  きつとあなたね！

1 認知症について

認知症とは、脳の機能が低下し日常生活に支障をきたす状態を言います。原因疾患によって症状の現れ方に違いがありますが、治療可能な疾患の場合もありますので早期の受診をお勧めします。

おもな認知症の種類と特徴

アルツハイマー型認知症

- もの忘れ、同じ質問をする
- 日付や場所がわからなくなる
- 物盗られ妄想

レビー小体型認知症

- いないはずのムシや人が見える
- 物音や声が聞こえる
- パーキンソン症状

前頭側頭型認知症

- これまでと性格がちがう
- きまりが理解できない
- 同じ行動を繰り返す

脳血管性認知症

- 麻痺が出るなどの身体症状
- まだら認知症
- 感情が抑えられない



軽度認知障害（MCI）

認知症ではないが、軽度な認知機能の低下がある状態です。

65 歳以上の人の約 3 割は MCI の状態であるという報告があります。

5 年以内に約半数の人が認知症に移行し、1 割の人は健常に戻るといわれています。

若年性認知症

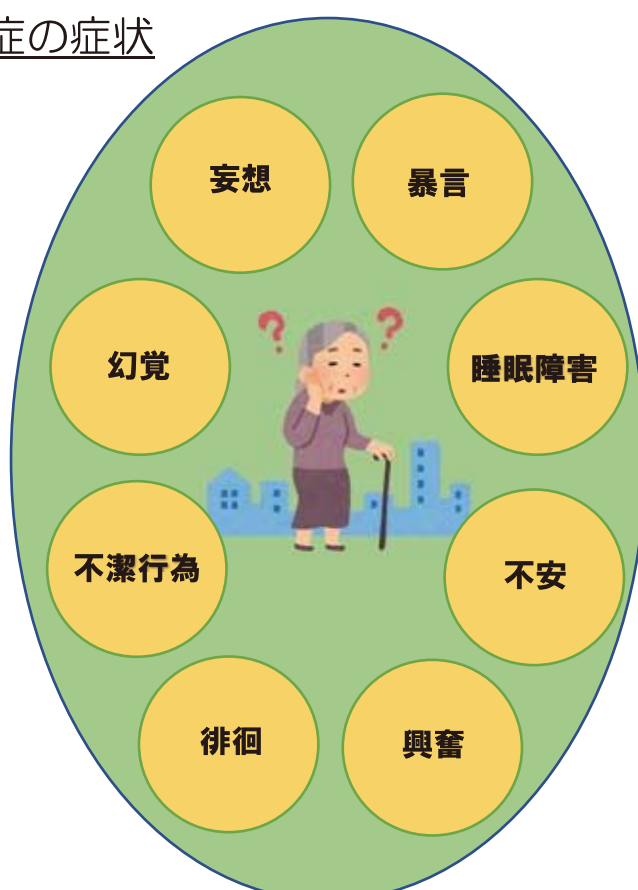
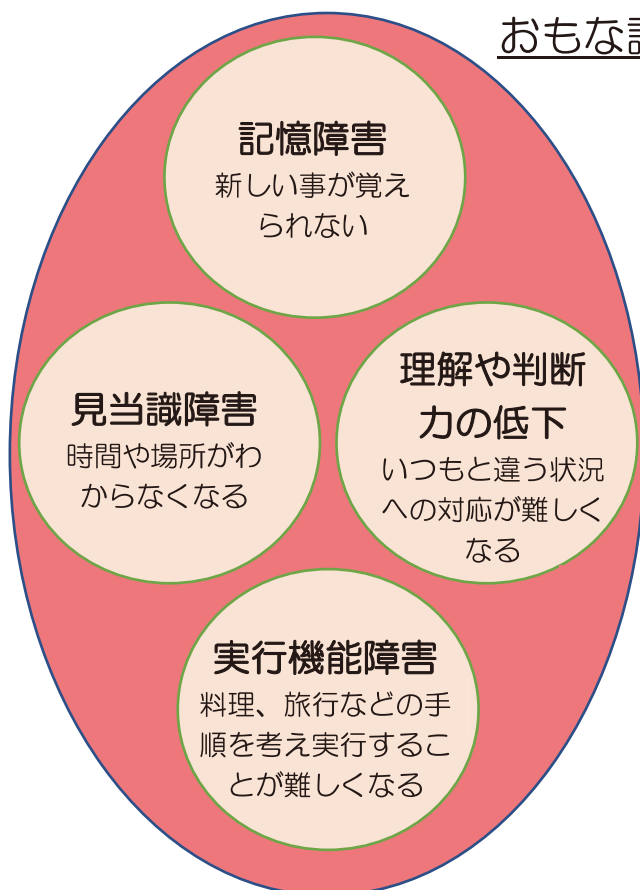
18 歳から 65 歳未満で発症した認知症を総称して「若年性認知症」といいます。比較的男性に多く、4 割が脳血管性認知症と言われているため、脳血管疾患の予防が大切です。

働き盛りで若年性認知症を発症すると、就労などの経済的課題や、子どもがいる場合の心理的影響、親の介護と重なったりする場合の介護負担も大きくなります。

中核症状

行動心理症状

おもな認知症の症状



2 認知症の受診について

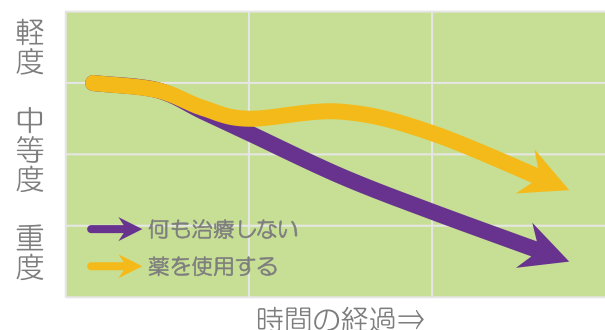
認知症は早期発見と早期対応が大切です

はやめに気付くことのメリット

- ◇早期に治療を開始できる
- ◇治療や介護計画にゆとりが持てる
- ◇さまざまな準備ができる

専門医受診の流れ

認知症治療薬の効果イメージ



厚生労働省 HP「かかりつけ医及び一般病院の医療従事者の認知症対応力向上研修」資料より

①かかりつけ医へ相談（専門医へ紹介状を書いてもらう）

②専門医の受診

《問診の際にメモしていくとよい情報》

- ・いつ頃から症状があり、どのような変化があったか
- ・生い立ちや職歴など
- ・家族や親族に似た症状の人がいるか
- ・過去の病気の治療や手術歴
- ・薬の内容（お薬手帳や薬を持参）や服薬状況
- ・1日の過ごし方（日や時間帯の変化など）
- ・現在困っていることは何か
- ・介護保険の有無



③専門医からかかりつけ医へ診療内容の情報提供（紹介状の返信）

④かかりつけ医または専門医を定期的に受診する



3 認知症の方への接し方

認知症の方の気持ちを理解して接しましょう

『これまでとは違う』と最初に違和感に気づくのは認知症のご本人です。もの忘れや失敗が増え、『何かがおかしい』『人に迷惑をかけているのではないか』というような不安や苛立ちを感じるようになります。また同時に、『できないことを責めないでほしい』『まだまだ人の役に立ちたい』と願い、常日頃から苦しんでいます。

『認知症だから何もわからなくなる』という思い込みを持たず、ご本人が何を求め、何ができるのかを具体的に見定め、ご本人の思いを大切にすることを心がけましょう。

できることを尊重し、できないことを支援します

認知症になっても、できることはたくさんあります。できないことを指摘されると、誰でも悲しみや怒りの感情がわきます。できない部分をさりげなく支援しましょう。本人が持つ力を最大限に活かしながら、生活できるよう工夫しましょう。

認知症の方への基本的対応



①驚かせない ②急がせない ③自尊心を傷つけない

①まずは見守る さりげなく様子を見守り、必要に応じて声をかけます。 	⑤やさしい口調で 目線の高さを合わせ、やさしい口調を心がけます。強い口調になると『怖い』『嫌い』という印象を与え、そのあとのコミュニケーションがとりづらくなります。
②余裕をもって対応する 落ち着いて自然な笑顔で接します。困っている人をすぐに助けようと思って、こちらの気持ちが急くと、その焦りや動揺が相手にも伝わります。	⑥穏やかにはっきりした口調で 耳が聞こえづらい方もいます。ゆっくり、はっきり話すようにします。その土地の方言でコミュニケーションをとることも、安心感につながります。
③声をかけるときは一人で なるべく一人で声をかけます。複数人で取り囲んで声をかけると、恐怖心をあおりストレスを与えます。	⑦会話は本人のペースにあわせて いっぺんに複数の問いかけをしないように気を付けます。ひとことずつ短く簡潔に伝え、答えを待ってから次の言葉を発しましょう。先回りして『つまり〇〇ということですね』などと結論を急がず、ゆっくり聞き相手の言葉を使って確認していくようにします。 
④背後から声をかけない ゆっくり近づいて本人の視野に入ってから声をかけます。唐突な声かけ、特に背後からの声掛けは相手を混乱させます。	

認知症の度合い	健康	軽度認知障害 MCI
	 生活は自立をしている	
生活の様子	◇地域とのかかわりがある ◇健康を維持して思いどおりの生活ができる	◇物忘れの自覚はあるが生活に支障はない ◇時々お金の計算や買い物などでミスが増える
準備や対応について	◇運動や趣味活動などに参加して認知症予防に取り組む	◇はやめにかかりつけの先生に相談する

認知症予防

- 定期健診
- 歯科受診
- いきいきサロン
- 週1体操教室
- 老人クラブ
- シルバー人材センター
- 各種ボランティア団体など



医療

- かかりつけ医
- もの忘れ外来
- 認知症疾患医療センター
- 訪問診療、往診
- 訪問看護
- 服薬管理など



ケアパス

認知症（軽度）	認知症（中等度）	認知症（重度）
見守りがあれば日常生活は自立している	日常生活に支援や手助けが必要	常に医療や介護が必要になる
◇同じ話をするようになる ◇人の名前が思い出せない ◇物を探すことが増える 	◇着替えの手順がわからない ◇家に帰れなくなる ◇食事をしたことを忘れる ◇電化製品などの操作がわからない	◇車いすやベッド上での生活が長くなる ◇日常的に食事やトイレ、入浴、移動などに助けが必要となる
◇家族だけでなく地域の見守りを検討する ◇かかりつけ医からの紹介で専門医を受診する ◇介護の支援を検討する	◇介護サービスを利用する ◇住まいの環境や見守り体制を整える ◇悪質な商法などから身を守る手段を講じる	◇落ち着ける環境を整える ◇コミュニケーション方法を工夫する ◇終末期に備えて話しあう

介護

- 通所型サービス
- 訪問型サービス
- 短期間の入所サービス
- 認知症対応型サービス
- グループホーム
- 施設サービス
- など



地域の支え

- 配食サービス
- 見守りネットワーク
- くらしのサポートセンター
- オレンジカフェ
- 認知症介護者の会
- 地域食堂
- 認知症初期集中支援チーム
- 権利擁護支援センター
- 地域包括支援センター
- など



5 相談するところ



認知症の相談全般

玖珠町役場福祉保険課 高齢者支援班	72-1115
玖珠町地域包括支援センター	72-7154

認知症地域支援推進員（玖珠町地域包括支援センター内）



認知症の人の状態に応じて必要なサービスが適切に提供されるように、医療機関や介護サービス、地域の支援機関との連携支援や、認知症の人やその家族を対象とした相談業務などを行います。集いの場として、オレンジカフェくす、本人ミーティング（くすまち雑談会）、認知症介護者ミーティング、認知症サポーター養成講座、声かけ模擬訓練などに取り組んでいます。

認知症初期集中支援チーム（玖珠町地域包括支援センター内）

40歳以上で、在宅生活をしている認知症の症状でお困りの方やご家族を対象に、おおむね6カ月を目安に介護サービスや医療につなげていくために集中的な支援を行います。

若年性認知症支援コーディネーター

- ◇受診までのサポート
- ◇診断後のサポート
- ◇職場で気付いた時の対応
- ◇就労を続けるための支援
- ◇当事者・家族と交流できる場の紹介
- ◇退職後の生活
- ◇各種手続き（自立支援医療、傷病手当金等）の窓口へのつなぎ

電話相談 097-529-7588（佐藤病院内）
10時～15時（火、水、木、金）
来所相談 予約制 出張相談も可能（秘密厳守）
医療法人明和会 佐藤病院
〒870-0838 大分市桜ヶ丘 7-67
メール相談 jakunen.oita@gmail.com



認知症の人と家族の会

1980年に結成され、全国47都道府県に支部があり、1万人以上の会員が励まし合い、助け合って「認知症になっても安心して暮らせる社会」を目指している公益社団法人です。大分県支部は1990年に創設され、「つどい」「電話相談」「広報誌発行」を主な活動としています。

公益社団法人 認知症の人と家族の会 大分県支部
〒870-0161 大分市明野東3-4-1
（大分県社会福祉介護研修センター内）
電話相談（祝日を除く火～金 10時～15時）
TEL/FAX 097-552-6897
【HP】<https://alzheimer-oita.jp/>



公益社団法人
認知症の人と家族の会

6 医療について

認知症疾患医療センター

地域における認知症医療の核となる専門医療機関として、認知症疾患医療センターを大分県が指定しています。（全 8 ヶ所）



【最寄り（大分県西部）の認知症疾患医療センター】

医療機関	住 所	電話番号
上野公園病院	日田市大字上野町 2226-1	0973-22-7723

玖珠町の認知症サポート医

認知症の専門的な研修を受けた医師が在籍している医療機関です。

医療機関	氏 名	住 所	電話番号
高田病院 ※（協心橋病院）	山下太郎	玖珠町大字帆足 259 ※（玖珠町大字帆足 357-1）	72-2135
武田医院	武田大威	玖珠町大字森 955	72-0170

玖珠郡内のオレンジドクター（もの忘れ・認知症相談医）

大分県では、認知症の早期発見・早期診断体制の充実を図るため、認知症医療の研修を修了した医師を「大分オレンジドクター（もの忘れ・認知症相談医）」として登録し、相談窓口とする取り組みを実施しています。



医療機関	氏 名	住 所	電話番号
小中病院	小中 敏生	玖珠町大字塚脇 123	72-2167
武田医院	武田 大威	玖珠町大字森 955	72-0170
高田病院 ※（協心橋病院）	山下 太郎	玖珠町大字帆足 259 ※（玖珠町大字帆足 357-1）	72-2135
高田病院 ※（協心橋病院）	織部 雅史	玖珠町大字帆足 259 ※（玖珠町大字帆足 357-1）	72-2135
長内科小児科胃腸科医院	長 益悦	玖珠町大字帆足 232-8	72-2143
老人保健施設はね	寺脇 信二	玖珠町大字山田 2696	72-5550
友成医院	友成 一英	九重町大字町田 557-1	78-8811
矢原医院	矢原 敏郎	九重町大字右田 1028-11	77-6121
介護老人保健施設ケアポート溪和	矢原 淳郎	九重町大字町田 5481-3	78-8000

※協心橋病院 令和7年5月開院予定

7 介護・福祉サービス

介護保険サービスを利用するには、申請手続きをして「介護や支援が必要」と認定される必要があります。相談や手続きにお伺いすることもできますので、まずは、玖珠町役場福祉保険課もしくは玖珠町地域包括支援センターへご相談ください。

通いのサービス



サービス種別・施設名	住所	電話番号
【認知症対応型通所介護】		
デイサービスセンター はるかぜ	玖珠町大字帆足 2189-1	72-7020
【通所介護】		
玖珠園デイサービスセンター	玖珠町大字大隈 315-5	72-1649
玖珠町介護保険サービスセンター通所介護	玖珠町大字岩室 24-1	72-9225
デイサービスきりかぶ	玖珠町大字塚脇 678-10	72-4580
デイサービスセンターれざんの木	玖珠町大字綾垣 1086-1	72-3211
ここのえ介護事業センター	九重町大字後野上 17-1	76-3267
デイサービスセンター春日荘	九重町大字右田 3156-7	76-2100
明友サービスセンター通所介護	九重町大字菅原 739-219	78-9765
【通所リハビリテーション】 ※協心橋病院 令和7年5月開院予定		
通所リハビリテーション ウォーク	玖珠町大字塚脇 113-13	72-5050
通所リハビリテーション はね	玖珠町大字山田 2696	72-5550
高田（※協心橋）病院 通所リハビリテーション	玖珠町大字帆足 259（※357-1）	72-3665
介護老人保健施設ケアポート溪和	九重町大字町田 5481-3	78-8000

施設系サービス



サービス種別・施設名	住所	電話番号
【認知症対応型共同生活介護施設】		
グループホーム笑みの里	玖珠町大字大隈 322-2	72-7777
NPO法人 グループホームなごみ	玖珠町大字山田 2734	72-7534
【介護老人福祉施設】		
玖珠園	玖珠町大字大隈 325	72-3413
共生の里メルヘン	玖珠町大字岩室 24-1	72-1515
シルバーランドメルヘン	九重町大字右田 3156-7	76-2100
【介護老人保健施設】		
老人保健施設はね	玖珠町大字山田 2696	78-9765
老人保健施設ケアポート溪和	九重町大字町田 5481-3	78-8000
【有料老人ホーム】		
住宅型有料老人ホーム れざんの木	玖珠町大字綾垣 1086-1	72-3211
グランドヒルズ アウルの丘	玖珠町大字戸畑 6498-4	77-2722
グループリビング みなみの風	九重町大字右田 52-3	78-8383
住宅型有料老人ホーム リビング山茶花	九重町大字右田 926-2	77-7001
宅老所 明友	九重町大字菅原 739-219	78-9765
【サービス付き高齢者向け住宅】		
サービス付き高齢者向け住宅 きりかぶ	玖珠町大字塚脇 678-10	72-4500

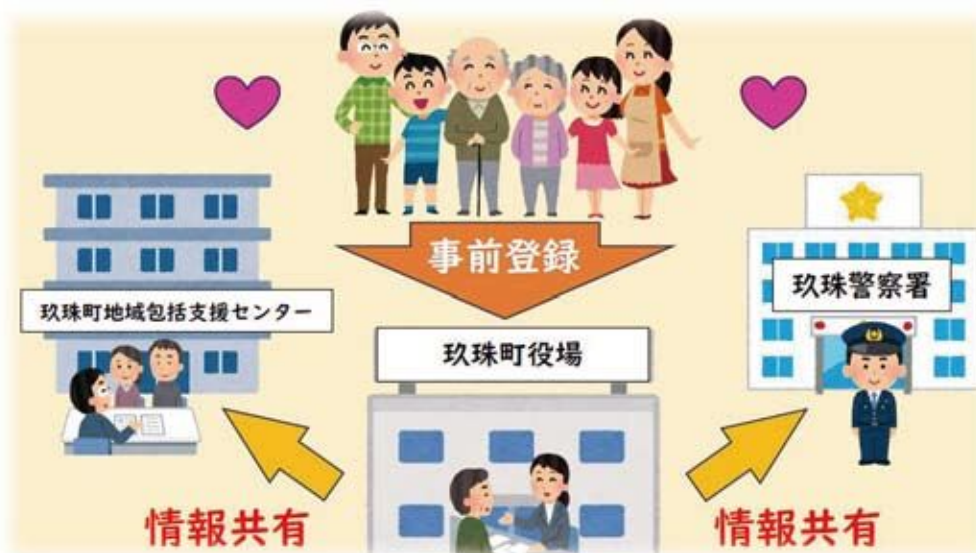
8 地域でささえあう

玖珠町認知症高齢者等見守り・SOS ネットワーク事業（事前登録制度）

認知症等により、記憶力や判断力が低下すると、道に迷ったり自分の家が分からなくなったりして、外出したまま家に戻れなくなる場合があります。

このように、行方不明になる可能性のある方の情報を玖珠町に登録し、その情報を警察署や地域包括支援センターと共有し、日頃からの見守り体制づくりと、もしもの場合に早期の発見・保護ができるように支援を行う制度です。

お問合せ：玖珠町役場福祉保険課高齢者支援班 電話 72-1115



対象者

玖珠町内にお住まいで、認知症などにより行方不明になる可能性のある方

申請について

申請を希望される対象者、ご家族等は、事前登録申請書を福祉保険課に提出してください。申請には、登録される方の写真（顔写真と全身写真の2枚）が必要です。ご準備ください。

日常生活自立支援事業（安心サポート）

福祉サービスを利用したいけれど、手続きの仕方がわからない。銀行に行ってお金をおろしたいけれど、自信がなくて誰かに相談したい。商品勧誘の人が来た時、どう対応していいかわからない。このような場合に、福祉サービスの利用手続きや、金銭管理のお手伝いをして、安心して暮らせるようにサポートします。

対象者 自分ひとりで契約などの判断をすることが不安な方
お金の管理に困っている方など

主なサービスの内容

- ① 福祉サービスの利用のお手伝い
- ② 日常生活に必要な手続きのお手伝い
- ③ 日常のお金の出し入れのお手伝い
- ④ 大切な書類などのお預かり

お問合せ：玖珠町社会福祉協議会 電話：72-5001



成年後見人制度

認知症などにより判断力が低下した方が、生活をする上で不利益にならないように「成年後見人」が本人の代わりに適切な財産管理や契約行為の支援を行うための制度です。

事前に準備をしておく「任意後見人制度」や、判断能力に問題が生じて申し立てる「法定後見人制度」などがあります。

お問合せ：玖珠町権利擁護支援センター 電話：72-5001
玖珠町地域包括支援センター 電話：72-7154



給食サービス事業（ふれあい弁当）

給食の配達によって、高齢者の健康の維持増進や安否確認、見守りを行います。

月に2回（第2第4水曜日）、給食ボランティアの方が調理して、民生委員さんがお届けします。

お問合せ：玖珠町社会福祉協議会 電話：72-5513

暮らしのサポートセンター

日常の「ちょっとした困りごと」を住民同士の支えあいで解決します。電球交換やゴミ出し、草刈りなど「一人ではできないなあ」と思う事、まずはご相談ください。



森地区暮らしのサポートセンター	森自治会館	72-1093	内容によってはご希望に添えない場合もあります。利用には登録-年会費-利用料が必要
玖珠地区暮らしのサポートセンター	玖珠自治会館	77-2711	
くらサポ八幡	八幡自治会館	72-0033	
北山田暮らしのサポートセンター	北山田自治会館	77-2550	令和7年4月開設予定

緊急通報装置貸出事業

急病や災害などの緊急時に、ごく簡単な操作を行うことで、緊急通報センターに自動的に通報され、あらかじめ登録された近隣協力員などが安否確認を行ったり、緊急通報センターが救急車の出動要請を行ったりします。携帯型も準備され、電話回線のない世帯にも貸与することができます。

- 対象者**
- ・町内に住み、緊急時の連絡手段の確保が困難な人で次に掲げる方
 - ① おおむね65歳以上のひとり暮らし、または高齢者のみの世帯
 - ② ひとり暮らしの身体障害者など

お問合せ：玖珠町役場福祉保険課 高齢者支援班 電話：72-1115



オレンジカフェ

認知症の方やそのご家族の集いの場であると同時に、地域の方の交流の場でもあります。年齢を問わず、お茶を飲みながらレクリエーションや話をして楽しく過ごせる場所で、専門職や推進員等と情報交換や相談などもできます。4つの自治会館とメルサンホールの各会場にて月1回ずつ開催しています。



くす雑談会～本人ミーティング～

認知症の方に集まっていただき普段の様子や困りごとなど、様々な話題でお話をします。参加者の「できなくなった」「あれがやりたい」などの意見を聞き取り、皆さんとともに企画を考え、自分たちでできるイベントへ作り上げるのが楽しい集まりです。



認知症介護者ミーティング

日頃から認知症の方を支えていらっしゃるご家族や地域の支援者の憩いの場として開催をしています。介護に苦労された話や心配事、ストレス発散方法など、同じ悩みを持った方同士だからその共感であったり、「ひとりで悩まない事」の大切さが伝わるアットホームな集いです。

お問合せ：玖珠町地域包括支援センター 電話：72-7154



認知症の人にやさしい
玖珠町

令和7年3月改訂版
玖珠町
玖珠町地域包括支援センター